



保健室では いろいろ 聞くよ

保健室に来室した時の第一声の「あるある」を紹介します。こんなセリフで入ってきたことはありませんか？こんな時、保健室ではどんなことを聞いているのでしょうか。

あるある①



①つらいのはわかるけど もう少し詳しく聞かせて

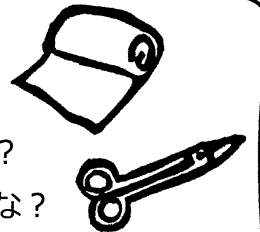


- ☐ どんな症状ですか？
- ☐ 考えられる原因はありますか？
- ☐ 生活（睡眠・食事・排便）の様子はどうですか？
- ☐ バイタル（熱・脈・呼吸など）をチェックします。

あるある②



②どんなけがをしたのかな？



- ☐ いつ・どこで・何をしていましたか？
- ☐ 「湿布を貼る」応急処置でいいのかな？
- ☐ 応急処置をしたら、その後の注意することも伝えます。
- ☐ どうしたらけがを防ぐことができたかな？

あるある③



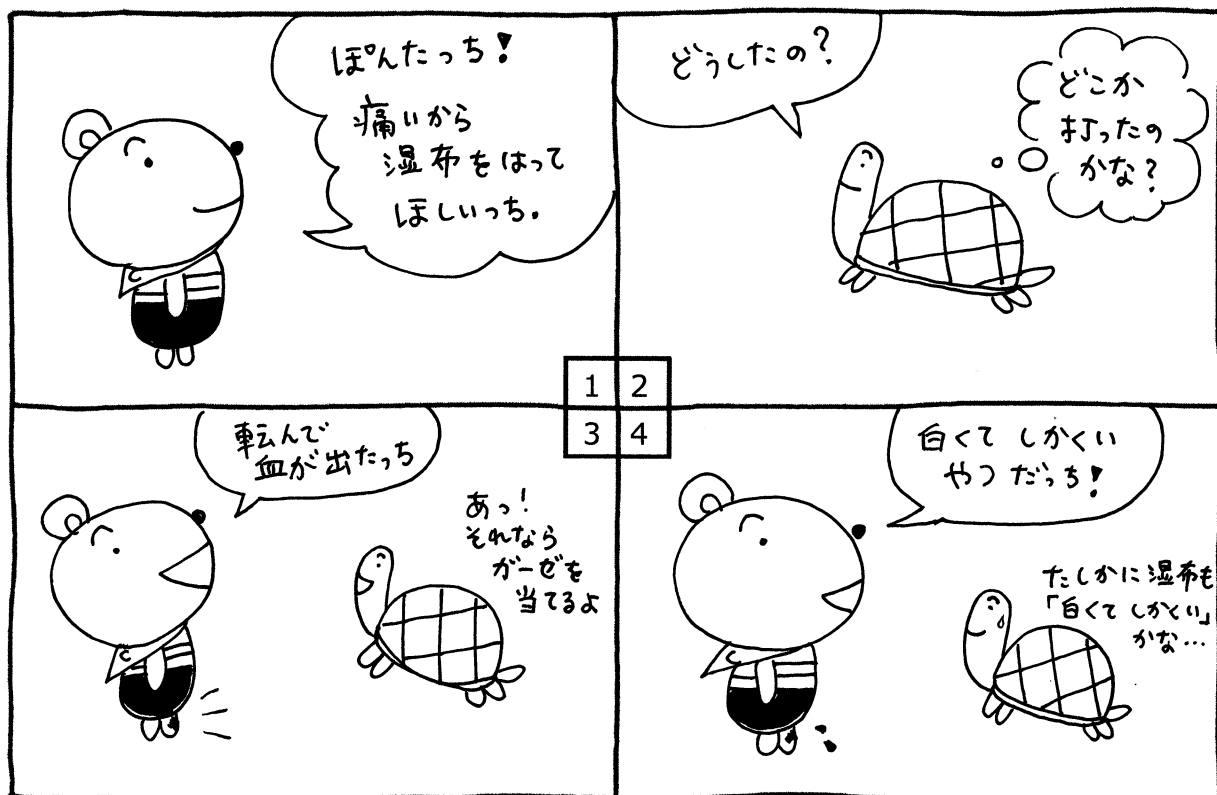
③パニックになっているよ



- ☐ まずは落ち着いて！！深呼吸。
- ☐ 落ち着いたら、何が起きたかゆっくり説明しよう。
- ☐ ①や②へ進む。

「保健室に行くと、いろいろ聞かれていやだ。」という人がいます。保健室を、ただ「休む所」と勘違いしていませんか？保健室は「健康を保つところ」です。「どうしてそうなったのか」「どんな応急処置をしたらいいのか」「これから症状とどう付き合っていけばいいのか」などを一緒に考えてきます。





あるある④



④大切なことを忘れているよ

すり傷でけっこう多いのが、保健室に来る前に、**傷口を洗ってこない人**がいるということ。まずは、水道の流水でしっかり汚れを落とします。それだけで、**応急処置の90%完了**なのです。

これ 基本の「き」

